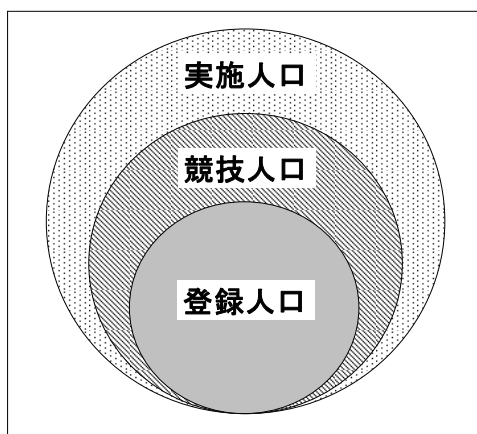


Ⅲ．調査結果

1．競技人口と登録制度に関する調査

スポーツの種目ごとの普及状況を示す概念として「競技人口」がある。しかし、その定義は必ずしも明確ではない。実際に把握または推計されているのは、登録人口（登録競技者数）と実施人口である。登録競技者数は、文字どおり各競技団体に登録されている競技者の数であるが、市民スポーツイベントとして行われる各競技の大会では競技団体が参加者の氏名やその数を把握できていないケースもある。これとは別に、たとえば笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」のスポーツ実施率に人口を乗じて「スポーツ実施人口」を推計することができるが、この中には、競技者ではない人、たまにそのスポーツを楽しむ人も含まれている。これら「登録人口」「競技人口」「実施人口」の関係を示せば図 1 のようになる。以下では中央競技団体の回答をもとに、主に登録人口と制度についてみていく。

図 1 登録人口、競技人口、実施人口の関係



1-1 登録制度の有無

競技者の登録制度については、回答を得た 83 団体のうち、登録制度が「ある」団体は 74 団体（89.1%）であった（表 2）。このうち、個人の登録制度のみある団体が 30 団体（36.1%）、チームの登録制度のみある団体が 2 団体（2.4%）、個人・チームともに登録制度がある団体が 42 団体（50.6%）であった。登録制度がない団体は 9 団体（10.8%）であった。

表 2 中央競技団体の登録制度（n=83）

登録種別	団体数	%
個人の登録制度のみあり	30	36.1
チームの登録制度のみあり	2	2.4
個人・チームともに登録制度あり	42	50.6
登録制度なし	9	10.8

1-2 登録競技者数

表 3 に中央競技団体の登録競技者数（またはチーム数）を示した。個人登録者数についてみると、最も多いのは剣道の 205 万 6,088 人で、以下、サッカー（86 万 8,550 人）、軟式野球（58 万 741 人）、バレーボール（42 万 9,208 人）、陸上競技（41 万 2,160 人）、ソフトテニス（34 万 2,868 人）の順となっている。登録チーム数についてみると、最も多いのは、軟式野球（3 万 7,359 チーム）で、以下、サッカー（2 万 8,635 チーム）、バレーボール（2 万 4,629 チーム）、陸上競技（1 万 6,930 チーム）、柔道（7,352 チーム）の順となっている。登録競技者数と登録チーム数がともに集計されているサッカーでは、1 チームあたりの平均登録者数が 30.3 人、軟式野球では 15.5 人、バレーボールでは 17.4 人と、一般的に試合に必要な人数（11 人、9 人、6 人）の 2～3 倍程度であった。登録者数を性別にみると、多くの種目で男性が女性を上回っているが、エアロビック、水中スポーツ、スケート、体操、ダンススポーツ、なぎなた、馬術、バトン、バレーボール、武術太極拳では女性の登録者・チームが多い。

表 3 中央競技団体の登録競技者数および登録チーム数（n=95）

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)全日本アーチェリー連盟	10,266	6,710	3,556
(一社)日本アームレスリング連盟	1,000 [90]	950	50
(公財)合気会	*	*	*
(公財)日本アイスホッケー連盟	16,870 [754]	15,525 [683]	1,345 [71]
(公社)日本アメリカンフットボール協会	13,387 [408]	—	—
(公社)日本ウエイトリフティング協会	4,217	3,435	782
(公社)日本エアロビック連盟	933 [22]	143	790
(公社)日本オリエンテーリング協会	3,000	2,000	1,000
(公社)日本カーリング協会	2,507	1,637	870
(公社)日本カヌー連盟	3,334	2,352	982
(一社)日本カバディ協会	350	290	60
(公財)全日本空手道連盟	73 [4]	38 [2]	35 [2]

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
日本キャスティング協会	56 [5]	50 [4]	6
(公財)全日本弓道連盟	*	*	*
(公社)日本近代五種協会	250 [4]	150	100
(一社)全日本空道連盟	3,955	3,508	447
(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会	113,753 [3,268]	67,936	45,817
(一社)日本クリケット協会	1,447 [255]	1,334 [211]	113 [13]
(一社)日本車いすラグビー連盟	×	×	×
(一社)日本クレイ射撃協会	2,045	1,898	147
(公財)日本ゲートボール連合	35,537	21,919	13,618
(一社)日本健康麻将協会	64,000	—	—
(一財)全日本剣道連盟	2,056,088	—	—
(一社)日本拳法競技連盟	×	×	×
(一財)日本航空協会	*	*	*
(公財)日本ゴルフ協会	*	*	*
(一社)日本サーフィン連盟	9,564 [70]	8,173	1,391
(公財)日本サッカー協会	868,550 [28,635]	836,875 [21,154]	28,635 [1,563]
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会	35,762 [806]	26,284 [97]	9,478 [49]
(公財)日本自転車競技連盟	7,735	7,047	688
(公社)全日本銃剣道連盟	*	*	*
(一社)全日本柔術連盟	×	×	×
(公財)全日本柔道連盟	124,559 [7,532]	98,634	25,925
(一財)少林寺拳法連盟	14,839 [1,162]	10,089	4,750
(公財)日本水泳連盟	107,857 ^{※1} [5,460]	—	—

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(特非)日本水上スキー・ウエイクボード連盟	×	×	×
(一社)日本水中スポーツ連盟	1,971 [70]	960	1,011
(公社)日本スカッシュ協会	799 [45]	521	278
(公財)全日本スキー連盟	70,000	—	—
(公財)日本スケート連盟	9,652	3,813	5,839
(公社)日本スポーツチャンバラ協会	×	×	×
国際スポーツチャンバラ協会	×	×	×
(一社)日本スポーツウェルネス吹矢協会	21,624	11,050	10,574
(公財)日本相撲連盟	3,715 [67]	3,160 [52]	555 [15]
(公財)日本セーリング連盟	6,988	5,746	1,242
(一社)日本セパタクロー協会	840 [37]	612 [15]	228 [0]
(公財)日本ソフトテニス連盟	342,868	—	—
(公財)日本ソフトボール協会	136,886 [7,230]	83,990 [4,128]	52,896 [3,102]
(公社)日本ダーツ協会	—	—	—
(公財)日本体操協会	27,212 [3,054]	7,938 [311]	19,274 [1,401]
(公財)日本卓球協会	261,999 [96,742]	165,257	96,742
(公社)日本ダンススポーツ連盟	10,599	5,264	5,335
(公社)日本チアリーディング協会	[420]	—	—
(公社)日本綱引連盟	1,072 [95]	783 [65]	289 [26]
(一社)全日本テコンドー協会	×	×	×
(公財)日本テニス協会	58,031	36,572	21,459
(一財)日本ドッジボール協会	3,131 [868]	2,297	834 [93]
(公社)日本トライアスロン連合	35,000 [300]	28,000	7,000

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(一社)日本ドラゴンボート協会	83 [48]	67 [25]	16 [3]
(公財)全日本なぎなた連盟	4,276	475	3,801
(公財)全日本軟式野球連盟	580,741 [37,359]	563,450	17,291
(一社)日本バイアスロン連盟	*	*	*
(一財)日本バウンドテニス協会	*	*	*
(公社)日本馬術連盟	6,165 [665]	—	—
(公財)日本バスケットボール協会	×	×	×
(公財)日本バドミントン協会	291,983	—	—
(公財)日本バレーボール協会	429,208 [24,629]	177,037 [8,175]	252,171 [14,139]
(一社)日本バトン協会	900 [557]	33 [0]	867 [178]
日本パワーボート協会	376 [27]	362	14
(公社)日本パワーリフティング協会	4,728 [319]	4,050	678
(公財)日本ハンドボール協会	74,562 [4,214]	49,511 [2,533]	25,051 [1,681]
(公社)日本ビリヤード協会	5,500	4,700	800
(公社)日本フェンシング協会	6,813	—	—
(公社)日本武術太極拳連盟	63,719 [48]	27,749	35,970
(一社)日本フライングディスク協会	5,202 [248]	3,424 [140]	1,775 [78]
(一社)日本フロアボール連盟	2,060	1,264	796
(公社)日本ペタンク・ブール協会	4,200	2,800	1,400
(公財)全日本ボウリング協会	10,203 [248]	7,862	2,341
(一社)日本ボクシング連盟	4,933 [561]	4,277	656
(公社)日本ホッケー協会	8,882 [571]	5,574 [327]	3,308 [244]
(公社)日本ボディビル・フィットネス連盟	×	×	×

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟	49	39	10
日本マウンテンバイク協会	×	×	×
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会	10,902		
(公財)日本野球連盟	11,582 [371]	11,276 [371]	306 [0]
(一財)全日本野球協会	*	*	*
(公財)日本ライフセービング協会	1,818	—	—
(公社)日本ライフル射撃協会	6,886	4,806	2,080
(公財)日本ラグビーフットボール協会	90,240 [2,661]	85,128	5,112
(一社)日本ラクロス協会	×	×	×
(公財)日本陸上競技連盟	412,160 [16,930]	271,953	140,207
(公財)日本レスリング協会	×	×	×
(公社)日本ローイング協会	7,930 [501]	5,354	2,576
(一社)ワールドスケートジャパン	606	353	253
(一社)日本eスポーツ連合	×	×	×

* : 登録制度なしと回答

— : 回答なし

× : 未回収

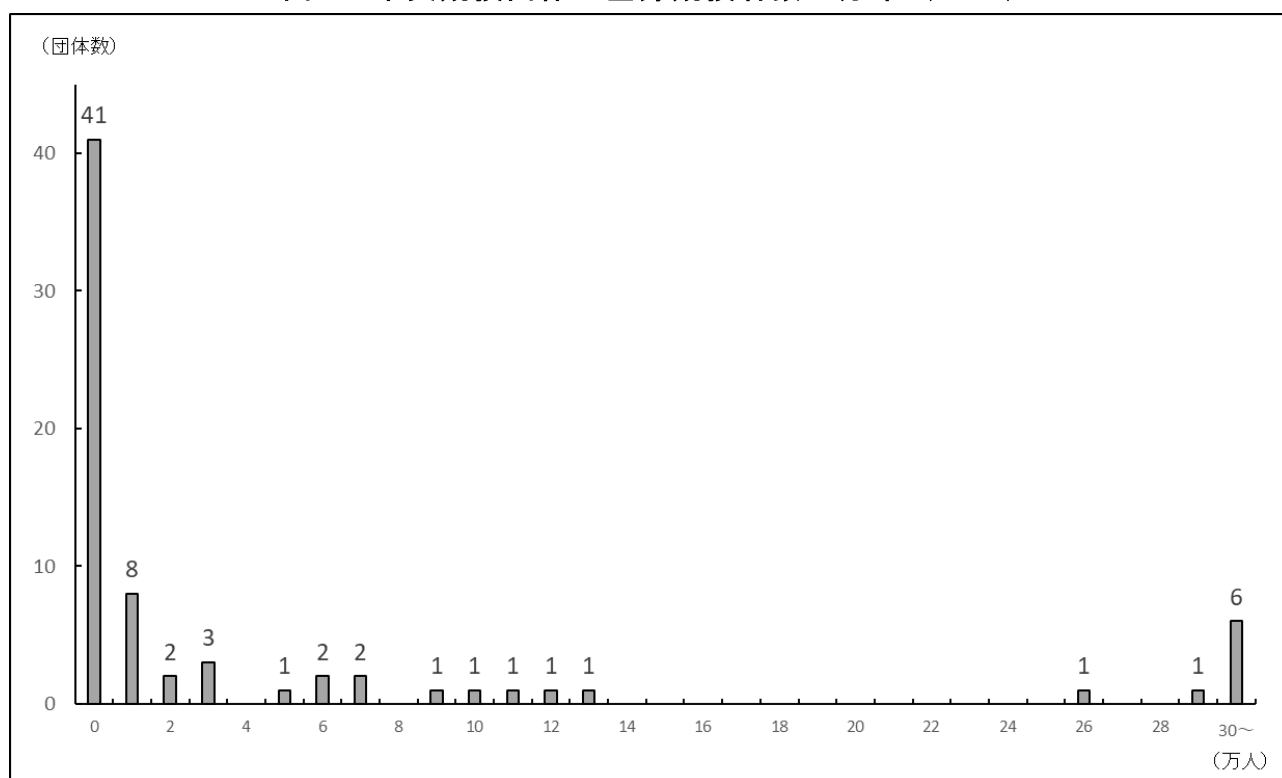
※1 登録制度はチーム登録のみ

注 男女チーム数の合計が合わない団体は、男女混合チームを含む

1-3 登録競技者数の分布

個人登録競技者数の分布をみると、平均は1団体あたり9万995人であるが、最小49人から最大205万人までとかなり大きな差があった（図2）。中央値は7,362人、第1四分位は2,056人、第3四分位は4万1,329人であった。また1万人単位での最頻値は1万人未満（41団体）であり、本調査で登録競技者数の回答が得られた72団体の半数以上を占めた。さらにそのうち、1,000人未満が12団体、1,000人以上5,000人未満が18団体と、登録競技者数が5,000人に満たない規模の団体（30団体）が全体の4割を占めている。

図2 中央競技団体の登録競技者数の分布（n=72）



注）登録競技者数は万人単位。したがって、「0」は9,999人以下を示す。